



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
 コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 存
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 川端 一弥 (TEL) 06-6110-1560
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	22,686	△8.7	1,606	25.4	945	△40.8	513	△49.6
28年3月期第1四半期	24,853	3.4	1,281	6.3	1,596	25.7	1,018	33.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △193百万円(-%) 28年3月期第1四半期 1,385百万円(△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	4.87	4.04
28年3月期第1四半期	9.67	8.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	93,559	47,575	50.9
28年3月期	97,027	48,296	49.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 47,575百万円 28年3月期 48,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,400	0.1	3,100	0.6	3,260	0.1	2,050	3.7	19.46
通期	103,000	0.9	6,500	0.9	6,800	5.6	4,300	19.2	40.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期1Q	111,771,671株	28年3月期	111,771,671株
29年3月期1Q	6,420,299株	28年3月期	6,419,632株
29年3月期1Q	105,351,694株	28年3月期1Q	105,359,383株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続いているものの、急激な円高による企業業績の収益悪化懸念、英国のEU離脱や新興国の景気減速により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、226億8千6百万円と前年同期比8.7%の減少となりました。利益面においては、機能化学品の伸長により、営業利益は16億6百万円と前年同期比25.4%の増加となりました。経常利益については、為替差損の影響もあり9億4千5百万円と前年同期比40.8%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益も5億1千3百万円と前年同期比49.6%の減少となりました。

当社グループは、ヘルスケア関連事業と合成樹脂・合成ゴムなどの機能化学品を軸とする高付加価値事業の拡大強化、クロール・アルカリおよびアリルクロライド・エピクロロヒドリン事業のコストダウンによる競争力強化等、環境変化の影響を受けにくい収益体質の構築を図ってまいりました。これにより、売上高では、前年同期比で減収となりましたが、営業利益では、収益基盤の強化により、前年同期比で増益となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

基礎化学品では、クロール・アルカリは、市況軟化の影響により売上高が減少しました。エピクロロヒドリンは、原料燃料価格の下落による影響を受けて売上高が減少しました。以上の結果、基礎化学品の売上高は98億4千5百万円と前年同期比9.8%の減少となりました。

機能化学品では、医薬品精製材料は、欧米市場向け販売が堅調に推移し、中国、インドを中心にアジア市場向けでもペプチド医薬品精製用途の新規顧客開拓に注力した結果、売上高が増加しました。医薬品原薬・中間体は、抗潰瘍薬、抗ウイルス薬の中間体および食品用酵素が堅調に推移し、売上高が増加しました。ダップ樹脂は、UVインキ用途での国内販売が堅調に推移したことに加え、欧米市場向け輸出が増加し、売上高が増加しました。アリルエーテル類は、欧米、中国向け輸出が堅調に推移し、売上高が増加しました。エピクロロヒドリンゴム関連は、中国向け輸出が堅調に推移したため販売数量が増加しましたが、円高の影響により、売上高が減少しました。以上の結果、機能化学品の売上高は87億2千8百万円と前年同期比4.5%の減少となりました。

住宅設備ほかでは、化粧板および生活関連商品の販売が低調に推移したため、売上高は41億1千2百万円と前年同期比14.4%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、4.2%減少し547億1千9百万円となりました。これは、主として有価証券が26億9千9百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、2.6%減少し388億4千万円となりました。これは、主として投資有価証券が9億1千3百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、3.6%減少し935億5千9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、5.9%減少し288億5千万円となりました。これは、主として未払法人税等が12億3千5百万円減少し、支払手形及び買掛金が6億4千8百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、5.1%減少し171億3千3百万円となりました。これは、主として長期借入金6億円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、5.6%減少し459億8千3百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、1.5%減少し475億7千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,037	13,307
受取手形及び売掛金	27,730	27,423
有価証券	6,999	4,299
商品及び製品	6,163	5,789
仕掛品	1,107	1,299
原材料及び貯蔵品	1,847	1,683
その他	1,252	919
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	57,137	54,719
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	11,098	11,281
その他(純額)	9,259	8,960
有形固定資産合計	20,357	20,242
無形固定資産		
のれん	923	885
その他	269	284
無形固定資産合計	1,192	1,169
投資その他の資産		
投資有価証券	17,154	16,240
その他	1,764	1,763
貸倒引当金	△578	△575
投資その他の資産合計	18,339	17,427
固定資産合計	39,890	38,840
資産合計	97,027	93,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,993	12,344
短期借入金	8,880	8,880
1年内返済予定の長期借入金	2,440	2,430
未払法人税等	1,338	103
賞与引当金	709	364
その他	4,307	4,727
流動負債合計	30,669	28,850
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	2,960	2,360
役員退職慰労引当金	533	510
退職給付に係る負債	3,063	3,060
その他	1,505	1,202
固定負債合計	18,062	17,133
負債合計	48,731	45,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,882	10,882
資本剰余金	9,399	9,399
利益剰余金	24,697	24,683
自己株式	△1,666	△1,667
株主資本合計	43,312	43,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,500	4,796
繰延ヘッジ損益	△82	△80
為替換算調整勘定	45	26
退職給付に係る調整累計額	△479	△464
その他の包括利益累計額合計	4,983	4,277
純資産合計	48,296	47,575
負債純資産合計	97,027	93,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	24,853	22,686
売上原価	20,798	18,191
売上総利益	4,054	4,495
販売費及び一般管理費	2,773	2,888
営業利益	1,281	1,606
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	168	178
為替差益	151	—
その他	11	32
営業外収益合計	340	219
営業外費用		
支払利息	25	18
為替差損	—	848
その他	0	13
営業外費用合計	26	880
経常利益	1,596	945
特別利益		
投資有価証券売却益	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	94	161
特別損失合計	94	161
税金等調整前四半期純利益	1,520	784
法人税、住民税及び事業税	259	91
法人税等調整額	242	179
法人税等合計	501	271
四半期純利益	1,018	513
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,018	513

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,018	513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	369	△704
繰延ヘッジ損益	△5	2
為替換算調整勘定	△2	△19
退職給付に係る調整額	5	14
その他の包括利益合計	366	△706
四半期包括利益	1,385	△193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,385	△193
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	10,912	9,137	4,803	24,853	—	24,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	109	113	△113	—
計	10,915	9,137	4,913	24,966	△113	24,853
セグメント利益	177	1,328	10	1,516	△234	1,281

(注) 1 セグメント利益の調整額△234百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	9,845	8,728	4,112	22,686	—	22,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	576	579	△579	—
計	9,849	8,728	4,688	23,265	△579	22,686
セグメント利益	265	1,562	22	1,849	△242	1,606

(注) 1 セグメント利益の調整額△242百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。